

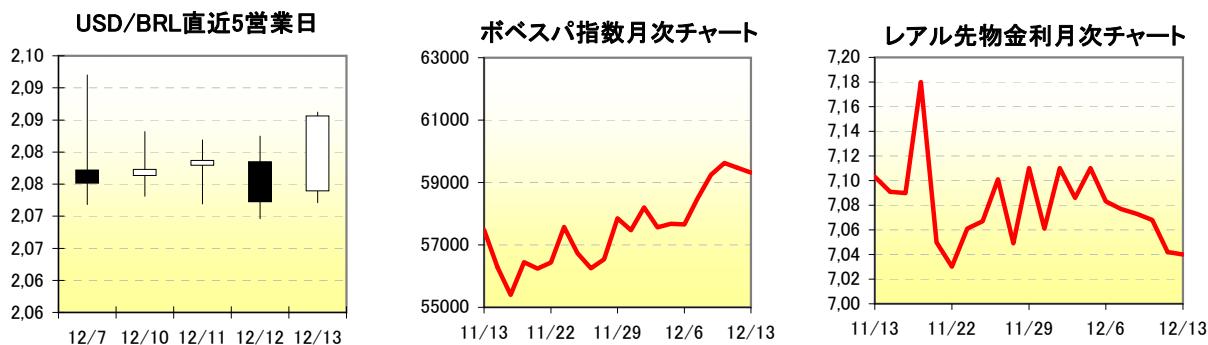
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			12月10日	12月11日	12月12日	12月13日	12月14日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,0770	2,0800	2,0740	2,0820	2,0870	+0,0050
	USD/YEN	Spot	82,44	82,54	83,13	83,63	83,53	-0,1000
	EUR/USD	Spot	1,2938	1,3004	1,3077	1,3077	1,3156	+0,0079
	BRL/YEN	Spot	39,66	39,70	40,12	40,09	40,04	-0,0500
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,30	1,32	1,34	1,34	1,39	+0,0569
		1Year(p.a.)	1,45	1,38	1,38	1,39	1,38	-0,0022
	Real Interest	6MTH(p.a.)	7,01	7,04	6,55	7,03	7,03	u,c,
		1Year(p.a.)	7,05	7,09	7,09	7,08	7,08	+0,0036
Stock	Bovespa		59.248	59.623	59.474	59.317	59.605	+288,17
Bond	CDS Brazil 5y		108,12	110,33	109,17	107,75	107,67	-0,0800
	Global 40		126,550	126,500	126,250	126,625	125,875	-0,7500

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	なし
経済活動指数 (前月比/季調済,10月)	0.30%	0.36%	-0.52%	
経済活動指数 (前年比/季調前,10月)	4.40%	4.96%	0.44%	

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2.0760 で寄り付いた。
- 先週金曜日のマーケット終了後に、伯中銀によるドル売リスワップ需要ヒアリングをディーラー行に実施したとの噂を受けてレアルは反発、週初寄り付き直後から買いが優勢となった。
- 翌 11 日もレアル底堅い展開となったものの、大口の資金流出が噂されると売りに転じ、一気に 2.08 台を下抜けた。
- 週央の米 FOMC 声明では、資産購入プログラムを拡大して 1 月から米国債を毎月 450 億ドル購入する方針を表明したほか、政策金利見通しを失業率とインフレ率に関連付ける方針も明らかにしたことが好感され、リスク資産の買い圧力が強まった。レアルも週間高値となる U\$1=R\$2.0700 まで買い進まれた。
- しかし 13 日にペイナー米下院議長が「オバマ大統領は財政コストカットを真剣に検討していない」とコメントしたことなどを受けて米国の「財政の崖」を巡る懸念が強まり、リスク資産の売りに拍車がかかるとレアルもつられて 2.08 台を割り込んで下落した。
- 週末にかけては週間安値となる U\$1=R\$2.0900 までレアル売りが続くも、大口の資金流入の噂からレアルは一気に 2.07 台後半まで反発した。その後、再び売りが優勢となり、結局 U\$1=R\$2.0870 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧説を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
12/17	FGVインフレ率-IGP-10(前月比)	Dec	0.50%	-0.28%
12/17	FGV CPI IPC-S	Dec 15	0.68%	0.45%
12/17	貿易収支(FOB)-週次	Dec 16	--	-\$463M
12/18	FIPE消費者物価指数(週次)	Dec 15	0.69%	0.70%
12/19	FGVインフレ率-IGP-M(プレビュー)	Dec 18	0.55%	0.50%
12/19	IBGE CPI IPCA-15(拡大/前月比)	Dec	0.63%	0.54%
12/19	長期レート - TJLP	jan/01	5.00%	--
12/19	貸付残高(前月比%)	Nov	--	1.4%
12/19	個人ローン・デフォルト率	Nov	--	7.9%
12/19	融資残高	Nov	--	2269B
12/19	Private Banks Lending	Nov	--	1208B
12/20	経常収支(月次)	Nov	--	-\$5431M
12/20	対内直接投資	Nov	--	\$7730M
12/21	FGV建設コスト(前月比)	Dec	0.57%	0.23%
12/21	FGV消費者信頼感	Dec	--	120.0
12/21	失業率	Nov	5.2%	5.3%

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.06-2.11

今週は米国の「財政の崖」を巡る不透明感からドル買いが強まる中、伯中銀が過剰なレアル安に対する懸念を示したこと、市場ではドル売り介入警戒感も燻り、限定的な値動きとなった。更に伯経済活動指数が予想を上回る結果となつたことから追加利下げの可能性が低下、レアル安トレンドを和らげた。来週は米財政協議の行方が引き続き注目され、レアル相場を大きく動かす可能性があるが、仮にレアル安の傾向が強い場合でも伯中銀によるドル売り介入警戒感が根強く、引き続きレアルの値動きは 2.10 を下限に限定的となろう。